Immersive soundscapes

公式ガイド

取扱説明書とお手入れ

Earsight マイクロフォン——バイノーラル、カーディオイド、ORTF、無指向性、 そしてウェアラブルモデル。マイクの接続、電源供給、設置、お手入れのすべてと、 録音を最大限に活かすためのヒント。

目次

1 はじめに 3 ページ

2 Earsight ラインアップ 4 ページ

3 技術仕様 6 ページ

4 電源、互換性、配線図 8 ページ

5 はじめかた 10 ページ

6 アクセサリーとウィンドプロテクション 11 ページ

7 お手入れと注意事項 12 ページ

8 トラブルシューティング 13 ページ

9 収録テクニック 14 ページ

10 保証、連絡先、返品 15 ページ

1. はじめに

Earsight は、**Immersive Soundscapes** が設計し手作業で組み立てる、バイノーラルおよびポータブルステレオ録音のためのマイクロフォンシリーズです。

すべての Earsight マイクは、カプセル一つひとつを手作業で製作し、出荷前に個別に 検査しています。ラインアップは、バイノーラルフィールドレコーディング、ドキュメンタリー、 ASMR、自然音収録、取材、音声アーカイブなど、幅広い用途をカバーし、 目立たず携帯しやすい形状を追求しています。

本ガイドの内容

- ✓ ラインアップ各モデルの技術仕様
- ✓ 電源供給、互換性、配線図
- ✓ ステップごとのはじめかたとアクセサリーの選び方
- ✓ お手入れ、使用上の注意、よくあるトラブルの解決方法
- ✓ ステレオ・バイノーラル収録の主要テクニック
- ✓ 保証、連絡先、返品手続き

> 本ガイドは随時更新される文書です。製品ラインアップやユーザーからの フィードバックに応じて内容を見直しています。最新版は常に immersivesoundscapes.com でご覧いただけます。

2. Earsight ラインアップ

身につけるバイノーラルペアから超小型ラベリアマイクまで、音を収録する10通りの方法。



Standard V2
カーディオイド XLR ペア、現場向けの万能コンビ



Nano 2
超小型無指向性ペア、きわめて目立たない



Professional
ハイエンドペア、用途に応じてカプセルを選択



Cardioid
指向性カーディオイドペア、よりタイトな音場



バイノーラル
耳の中に装着し、あなた自身の耳のように収音



The One
コンパクトなステレオバー、すぐに使える



ORTF
標準規格 110°/17cm ペア、広がりのある自然な音像



Thumb
超小型ラベリアマイク、カプセルにより Omni または Cardio

あなたの条件に合わせたマイク

すべてのモデルは、厳選されたカプセル、丁寧な配線、信頼性の高いコネクターという 共通の技術的系譜を持っています。選択のポイントは主に用途——目立たなさ、汎用性、 フィールドでの堅牢性、あるいはスタジオ品質——にあります。

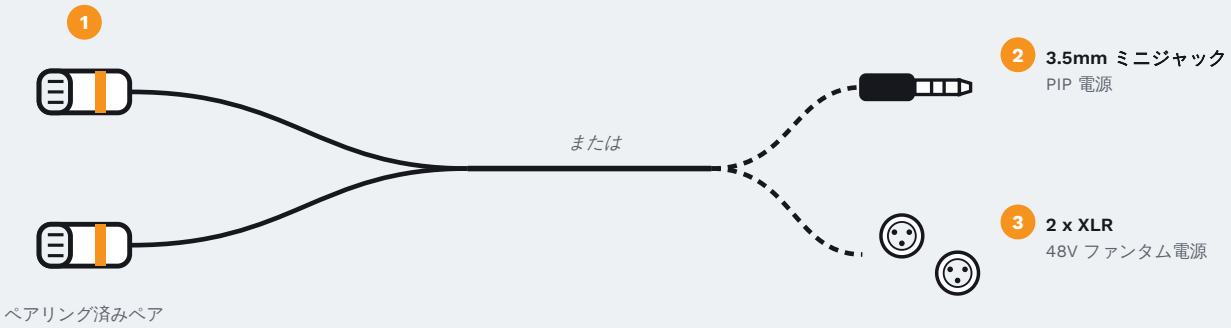
2. Earsight ラインアップ

用途に応じた選び方。

th|用途	th|推奨モデル	th|理由
現場での汎用性	Standard V2	カーディオイド、XLR、堅牢で実績あり
最大限の目立たなさ	Nano 2 / Thumb	小型サイズ、装着するとほぼ見えない
スタジオ品質	Professional	2種のカプセルから選択、低ノイズまたは高SPL
バイノーラルフィールドレコーディング	バイノーラル	自然な聴感と同じ音像
そのまま使える、ワンボディ	The One	一体型ステレオバー、配線の手間なし
標準規格に準拠した収音	ORTF	ORTF規格に準拠した角度と間隔
インタビュー、ラベリアマイク	Thumb Omni	部屋全体、声と周囲の音を収音
対象を絞ったインタビュー	Thumb Cardio	話者の背後のノイズを除去
特殊な形状やサイズが必要な場合	モジュール構造	すべての Earsight マイクはモジュール構造です。ケーブルの長さ、コネクターの種類、 仕上げなど、ご要望に合わせて構成を調整できます
カタログ外のプロジェクト	特注製作	特注マイクの製作にも対応します。仕様変更、新しい形状、 ご要望に応じた設計も可能です

3. 技術仕様

Earsight マイクの構造と、2つの主要な指向性ファミリー。



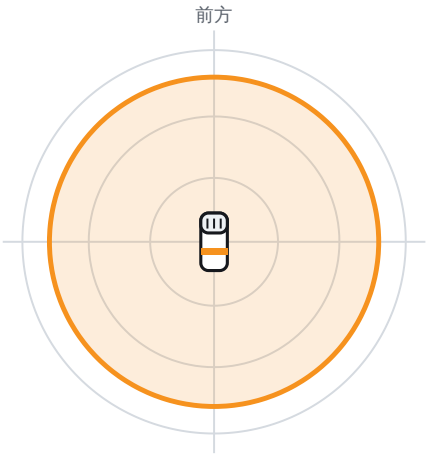
Earsight マイクの構造——モデルにより2種類の出力があります。

1 ペアリングされたエレクトレットカプセル、耐衝撃フォームにマウント

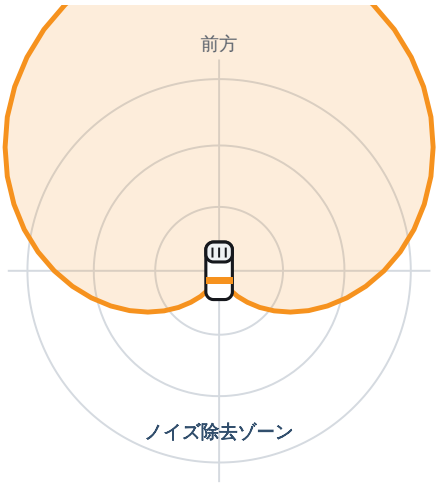
2 3.5mm ミニジャック出力、PIP 電源方式

3 デュアル XLR 出力、48V ファンタム電源

2つの指向性、2つの用途



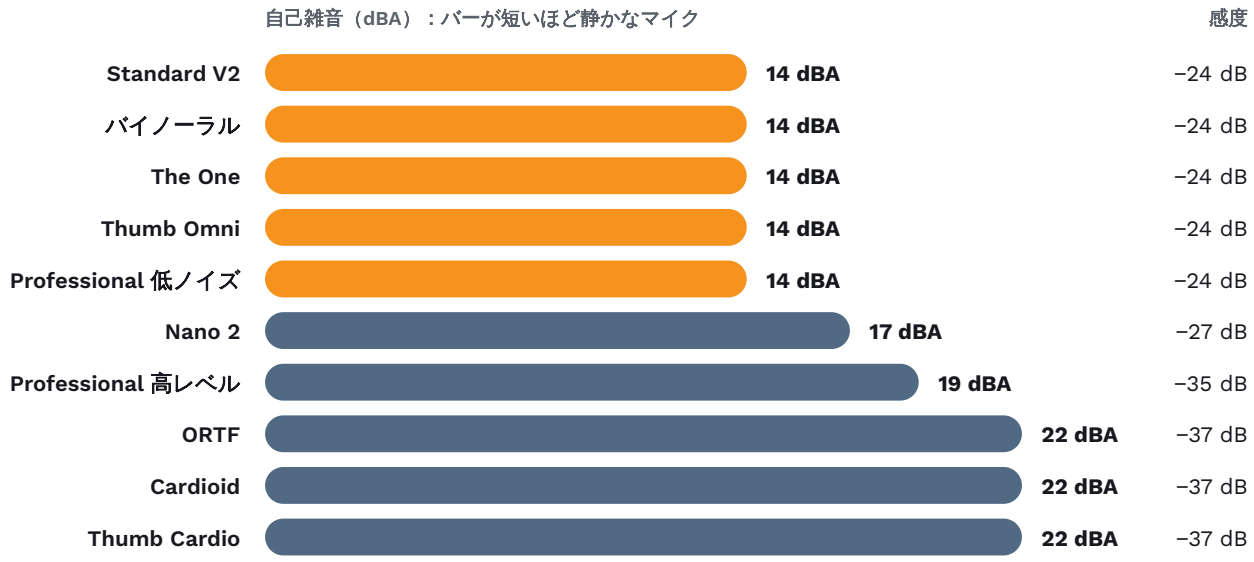
無指向性
空間全体を収音



カーディオイド
シーンをフレーミングし、背後を除去

3. 技術仕様

自己雑音と感度、モデルごとの比較。



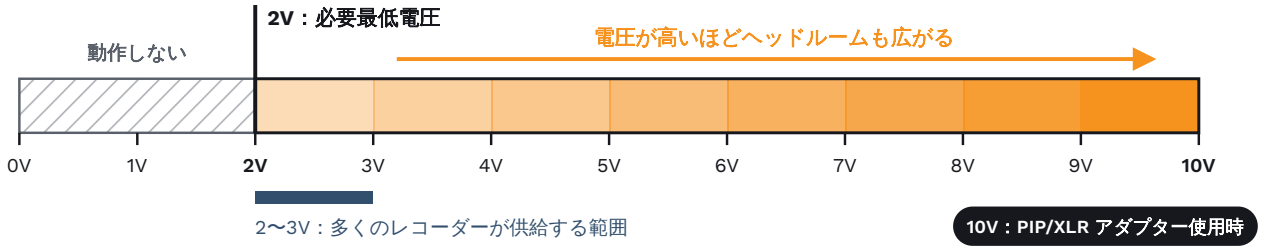
選択式カプセルについて

Thumb ——Omni カプセル（14 dBA、−24 dB）は、非常に低い暗騒音で部屋全体を収音し、 静かな室内に最適です。Cardio カプセル（22 dBA、−37 dB）は背後の音をより多く 除去し、騒がしい環境や対象を絞ったインタビューに適していますが、自己雑音はやや高くなります。

Professional ——低ノイズ版（14 dBA、−24 dB）は、暗騒音の一デシベルが重要となる 静かな環境や自然音収録のために設計されています。高レベル版（19 dBA、 −35 dB）は、より高い音圧（SPL）にもクリップせず対応でき、ダイナミックな シーンや近接・大音量のソースに適しています。

4. 電源、互換性、配線図

必要な最低電圧（PIP）と、より高い電圧がもたらすヘッドルームの余裕。



マイクが動作するための最低電圧は 2V です。2V〜10V の範囲では、 レコーダーから供給される電圧が高いほど、利用可能なヘッドルームと ダイナミックレンジが広がります。

4. 電源、互換性、配線図

よくある3つの接続パターンと、あなたに合うものの選び方。

A ミニジャック版、PIP 対応レコーダー



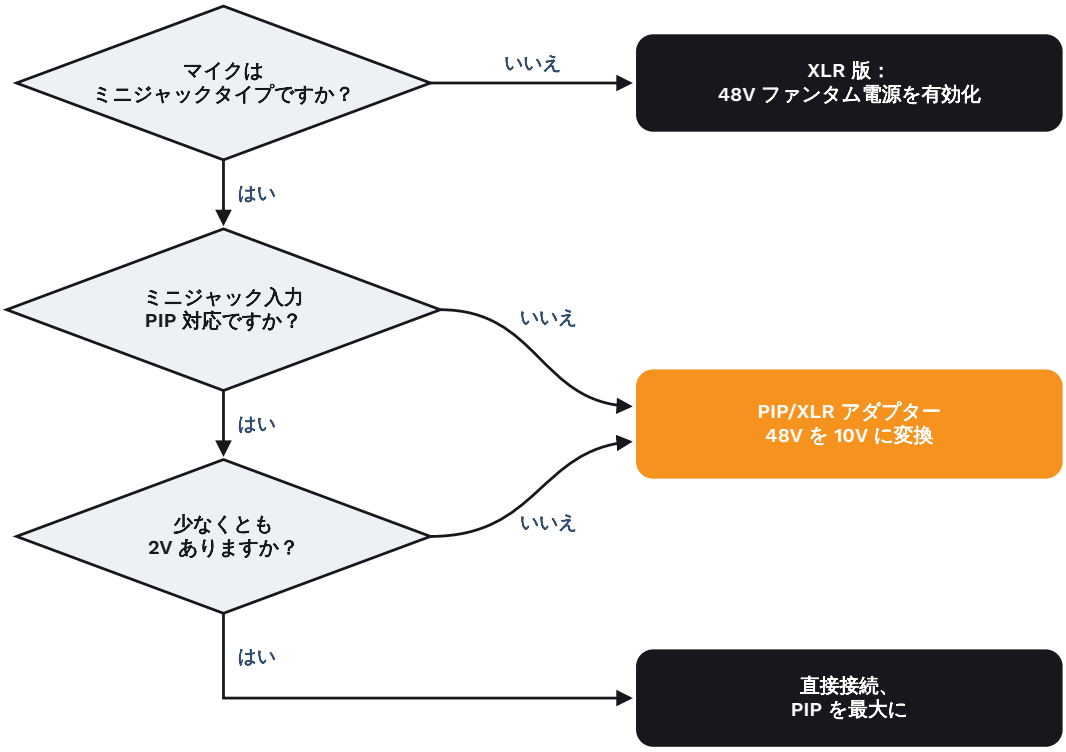
B XLR 版、48V 対応レコーダー



C ミニジャック版、XLR レコーダー：アダプター使用



どの接続方式が自分のレコーダーに合う？



5. はじめかた

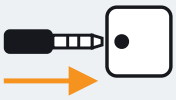
最初の収録を成功させるための5つのステップ。

1



確認する
XLR またはミニジャック

2



しっかり差し込む
奥まで確実に

3



電源を入れる
48V または最大 PIP

4



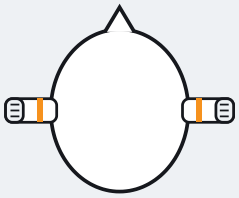
設置する
モデルに応じて

5

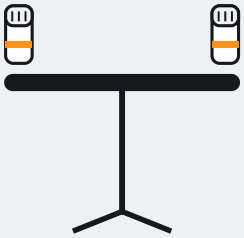


調整して試聴する
ヘッドホンでの試聴

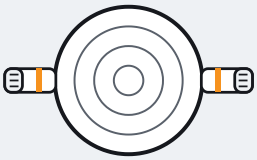
マイクの設置場所



身につける
頭や靴の両側に



スタンドに設置
ステレオバー、スタンド、ブームポール



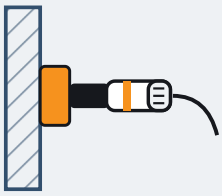
現場に隠して設置
木の幹の両側に

✓ 本番の録音を始める前に、ヘッドホンで試聴し、 レベルと設置位置を確認しましょう。

× XLR マイクに 48V を超える電圧を供給しないでください。また、 PIP 電源のミニジャックケーブルを非対応の入力に接続しないでください。

6. アクセサリーとウィンドプロテクション

現場で Earsight マイクを支えるアクセサリー。



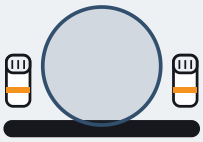
マグネットクリップ
マイクを取り付け可能
金属面に



TPU サスペンション
衝撃を吸収
と擦れを軽減



シリコンイヤーチップ
複数サイズ
Binaural 用

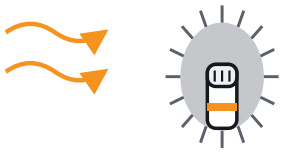


ジェックリンディスク
2つのカプセルの間に
The One の

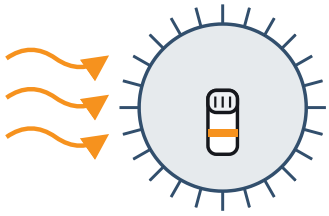
現場に応じたウィンドプロテクション



屋内、無風状態
カプセルむき出し



通常の風
Comica ウィンドスクリーン

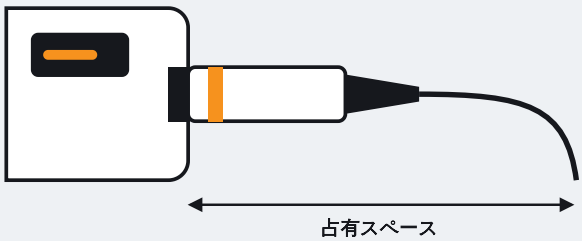


風の強い屋外
Rycote Baby Ball Gag

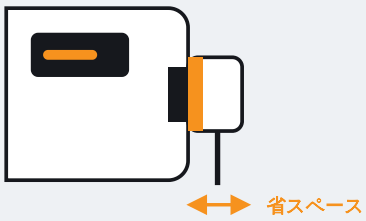
この表を読む際の3つのポイント

- ✓ 予想される風の強さに応じてウィンドスクリーンのサイズを大きくする
- ✓ 小さすぎるウィンドプロテクションは低域の風切り音を通してしまう
- ✓ 正しく選ばれたウィンドプロテクションはマイクの音色をほとんど変化させない

標準 XLR
ボディとケーブルが軸方向に突き出る



ロープロファイル XLR
短いコネクター、直角ケーブル



標準 XLR とロープロファイル XLR：電気的には同じコネクターですが、占有スペースが異なります。

7. お手入れと注意事項

いくつかの簡単な習慣が、マイクの寿命を大きく延ばします。



湿気
水濡れや結露を避け、自然乾燥させる



ケーブル
強いねじれを避け、きつく巻かずに保管する



電源
接続・取り外しの前に 48V または PIP をオフにする



ウィンドスクリーン
定期的にファーを清掃し、平らに置いて乾燥させる



熱
マイクを直接の熱源にさらさない



分解
カプセルを自分で分解しない

カプセルはマイクの中で最もデリケートな部品です。直接触れたり、 押したり、清掃したりしないでください。適切なウィンドプロテクションのみをご使用ください。

8. トラブルシューティング

よくある症状とその解決方法。

th|症状	th|考えられる原因	th|解決方法
音が出ない	PIP または 48V が無効	使用している入力の電源供給を確認する
音が非常に小さい	供給電圧が不足している	より高い電圧を供給する入力に切り替える
音が歪んでいる	入力レベルが高すぎる	レコーダーの入力ゲインを下げる
片チャンネルしか動作しない	コネクターの差し込み不良またはケーブル不良	奥までしっかり差し直し、別のケーブルで試す
大きなヒスノイズ	弱い音源に対してゲインを上げすぎている	ゲインを上げるのではなく、マイクを音源に近づける
風切り音	ウィンドプロテクションがない、または不十分	風の強さに応じたウィンドスクリーンを追加する
ケーブルに触れるとガサガサ音がする	ケーブルを通じて伝わる振動	付属のクリップでケーブルのたるみを作る

これらの確認を行っても問題が解決しない場合は、症状と使用機材の 詳しい内容を添えてご連絡ください。

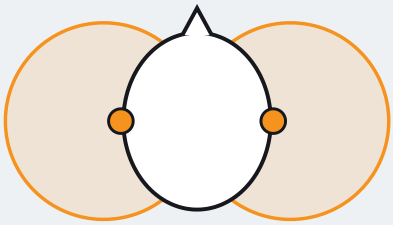
9. 収録テクニック

ステレオ・バイノーラルの4つの主要な手法。

バイノーラル

上から見た図

頭部そのものがステレオシステムになる

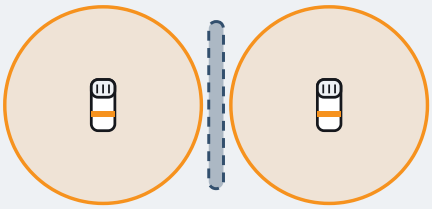


理想の試聴環境：ヘッドホン

A/B omni

上から見た図

2本の無指向性マイクを離して配置、ジェックリンディスクはオプション

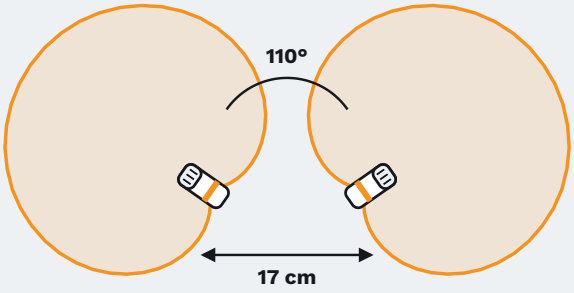


試聴環境：ヘッドホンとスピーカー

ORTF

上から見た図

110°・17cm、ORTF モデルに固定

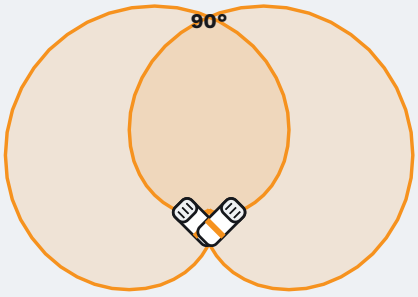


広がりのある音像、モノラル互換

X/Y

上から見た図

同軸カプセル、標準角度90°



フレーミングされたシーン、背後を除去

10. 保証、連絡先、返品

2年間のメーカー保証と、シンプルな返品手続き。



返品手続き

- ✓ 確認された不具合の内容をメールでご連絡ください
- ✓ マイクはお客様のご負担で返送してください
- ✓ 不具合が保証対象の場合：修理または交換のうえ、返送費用は工房負担となります

連絡先

Immersive Soundscapes — ナント、フランス
immersivesoundscapes@gmail.com・immersivesoundscapes.com

Immersive soundscapes

ご信頼いただき
ありがとうございます。

ご質問やオーダーメイドマイクのご相談は、メールにて 直接お問い合わせください。

immersivesoundscapes@gmail.com

immersivesoundscapes.com